「Small City in Our Garden（SCOG）」

~子ども・学生主体のハウスデザインプロジェクト~

2025/10/18 髙田凪紗　岡村ハル　マハムドアリアン　市川瑠人

《内容》

子ども・学生が主体となって、ハウス・ハウス周辺をデザインし、荒地の状態から皆の「やりたい!」を詰め込んだ空間に変えていく。
その過程で「食」と「農」の結びつきを強化し、岡山大学農学部から地域に新しい教育・新しい居場所を提供していく。

《活動場所》

岡山大学農学部棟2号館南に位置する畑
実習棟1階の実習部屋

SCOGメンバー

SCOGリーダーズ

1か月に1回程度集まり、ハウスデザイン・圃場管理・イベントの企画運営を行うお兄さん・お姉さん的存在

《構成》

・岡山大学7人（農学部・教育学部）
・岡山理科大学2人（工学部）
・明誠学院高校6人

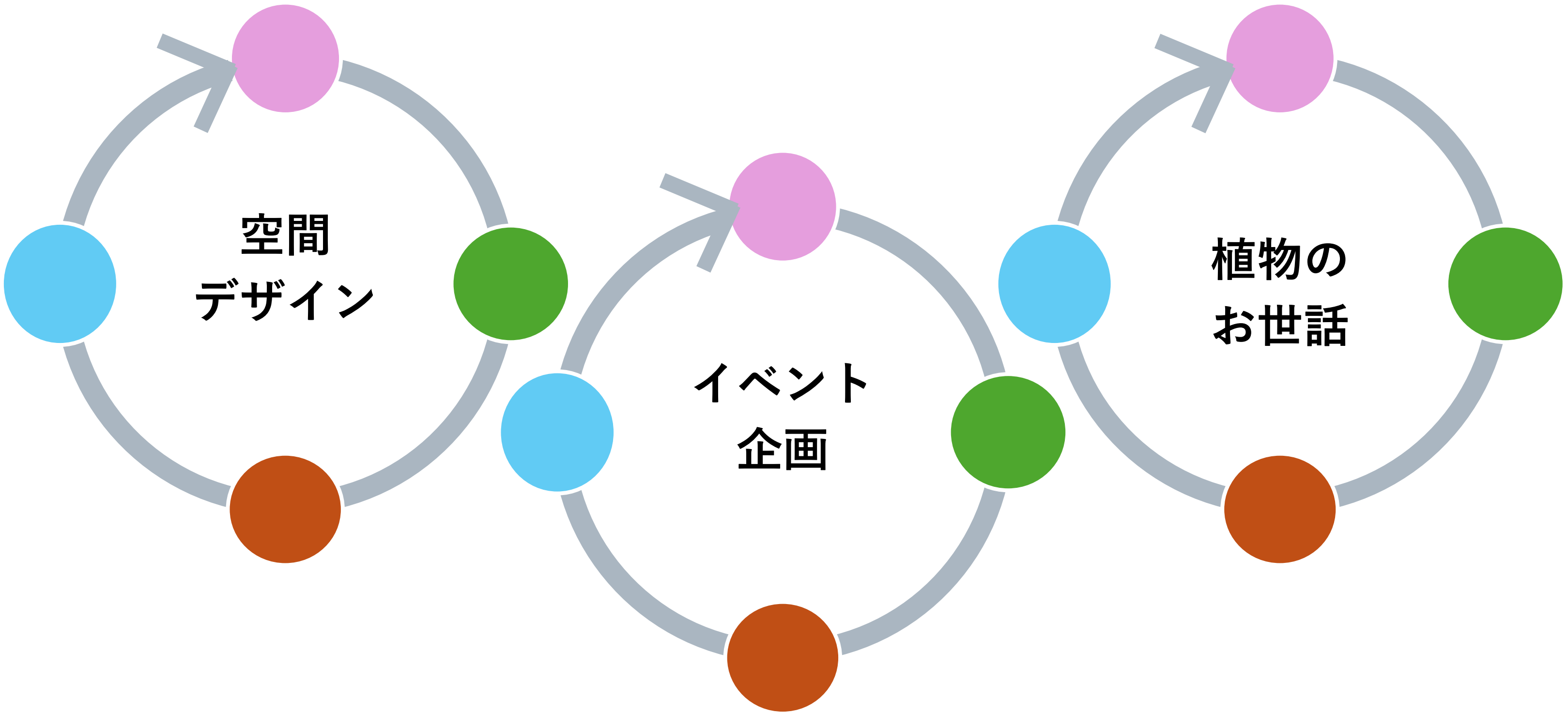
計15人

空間デザイン　**植物のお世話**　**イベント企画**

SCOGふれんず

・長期休みに遊びに来るお友達
（岡山大学内のかいのき児童クラブと連携）

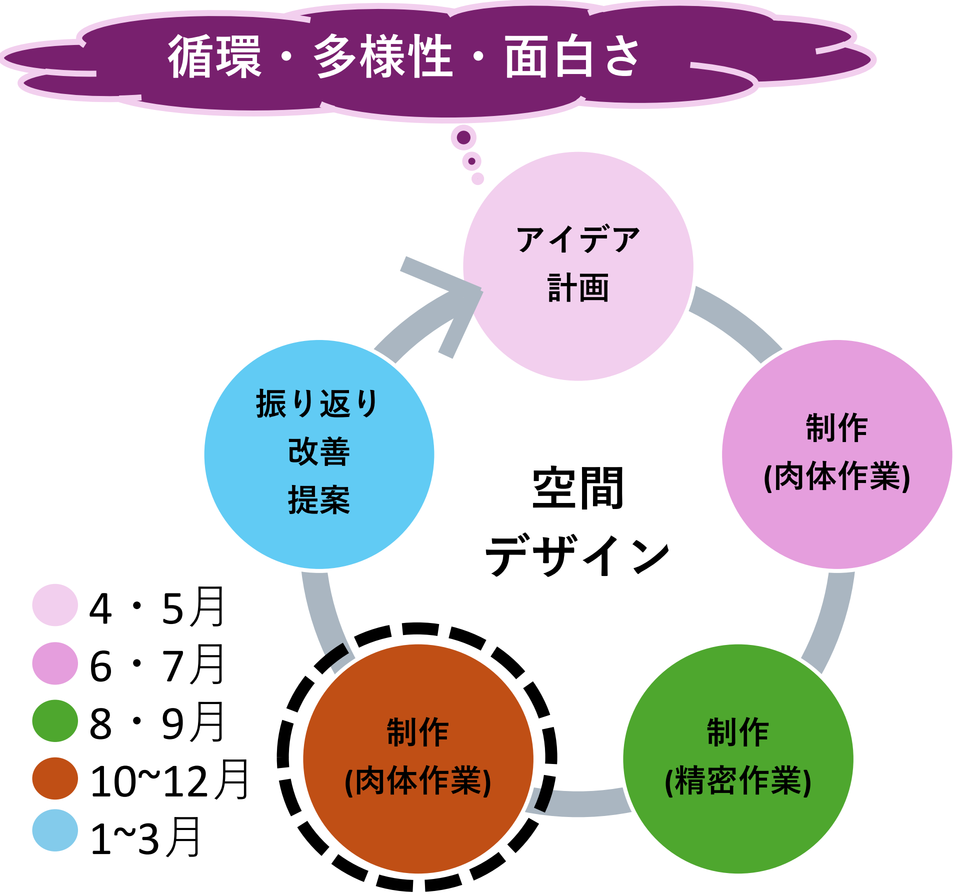
このプロジェクトで動く3つの歯車・目指す最終ゴール



Goal!!

岡山大学農学部から地域の教育機関に「農」を中心とした
持続可能な教育と居場所を提供し続ける

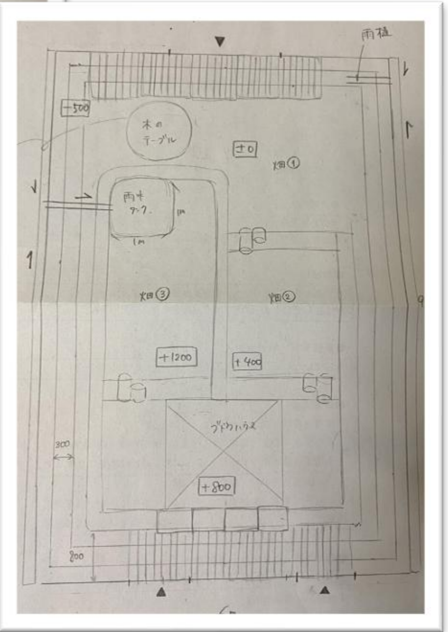
このプロジェクトで動く3つの歯車　《空間デザイン》



自然が循環する空間・多様な作物を栽培できるような環境づくりをアイデア出しから行い、1年を通して実践する。

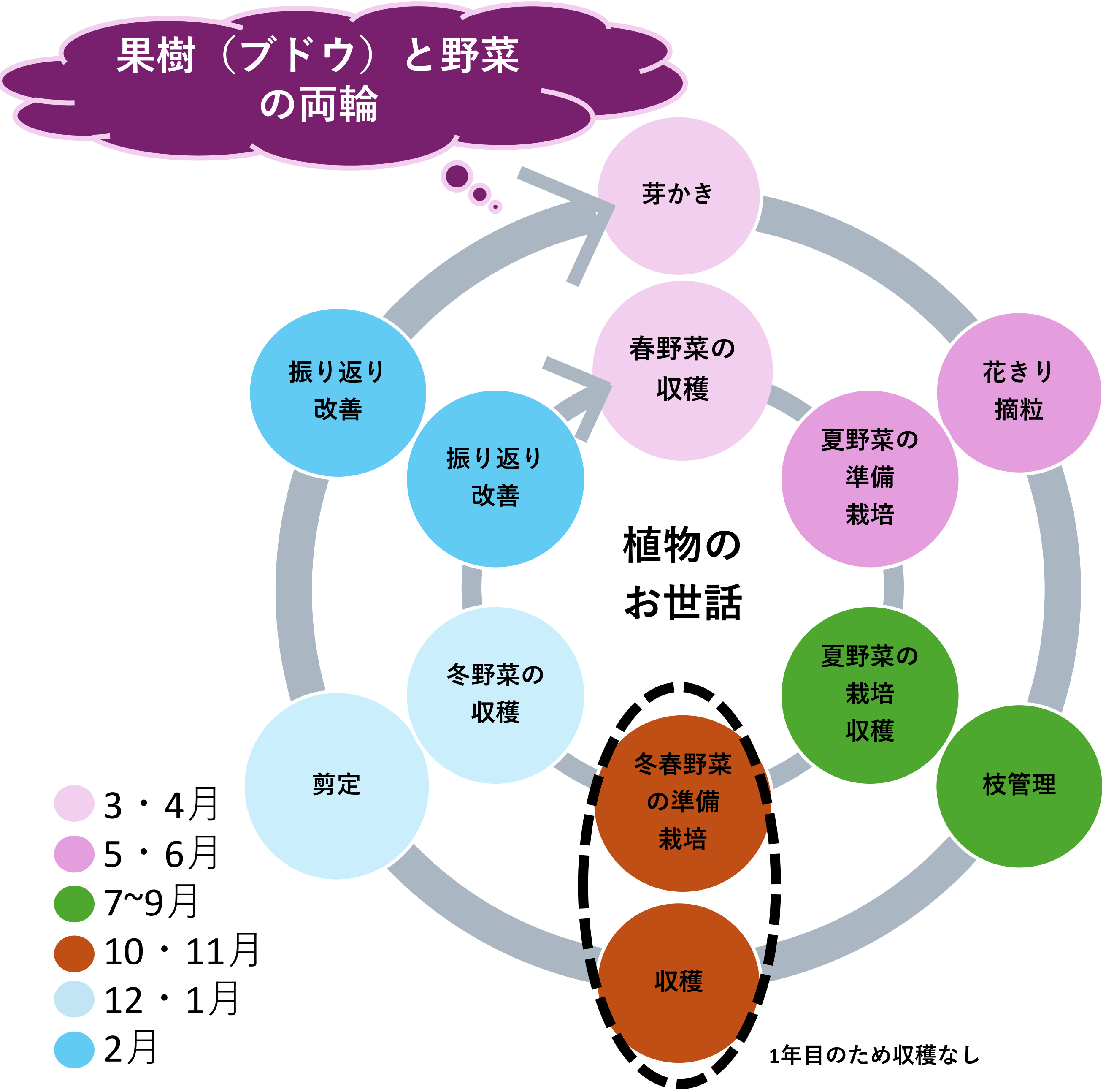
加えて「植物のお世話」や「イベント企画」からの情報を得て、それらが活動できるように空間を整備していく。

2025年4月　デザイン案



2025年9月　木枠作り

このプロジェクトで動く3つの歯車　《植物のお世話》



2025年8月　石原果樹園にてブドウの勉強

　「イベント企画」から情報を得て、そこに必要な野菜とその栽培に適した畑、栽培方法・雑草や害虫を考慮した管理方法を考え、実施する。

　年または季節ごとに栽培が終了する野菜だけではなく、果樹（ブドウ）の栽培もみんなで引き継ぎながら続けていく。

このプロジェクトで動く3つの歯車　《イベント企画》

- 3・4月
- 5・6月
- 7・8月
- 9~11月
- 12月
- 1・2月

2025年8月　看板づくり

子どもたちと関わって活動するため、一番SCOGの顔になるチーム。

子どもたちに馴染む「農」の形を探究し、教育機関との持続可能な連携を実現する。SCOGを広めるためのプレゼン等は中心になって進める。

今までのSCOG活動まとめ・これからの活動

空間デザイン

・ビニール張り
・土の移動
・らせん畑の木枠作り

→

・木枠の強化
・土の搬入
・ブドウ棚の設置

植物のお世話

・夏野菜の水やり

→

・冬野菜の準備・栽培

イベント企画

・子どもたちに向けてブドウの育て方、SCOGについての発表
・看板づくり
・圃場見学、ブドウの枝管理

→

・ブドウの移植（高学年）
・おでんパーティ企画、実施

課題

SCOGリーダーズ

・農業について知らないことが多い
→指示がないと動けない状態
（アイデアが出にくい）
→子どもたちに教えられない

・月に一回の活動だから、
1年間にできることが限られてくる
（空間を有効に使えていない）

SCOGふれんず（かいのき児童クラブ）

・農業について知らないことが多い
→「やりたい！」が出てこない

・暑くて外に出られない

・「日常」が好きでそれを邪魔されるのを嫌がる子どもたちもいる（好奇心の差）

農家さんと連携して実践を積む。

定期的にSCOG圃場に人が訪れる仕組みを作る。

イベント中心から日常へ。

子どもたちの「やりたい！」を引き出すために
SCOGメンバーの農業の知識をもっと増やすところから始める

参加してくれている高校生からのメッセージ

参加したきっかけ

交友関係を築きたい

農学部を志望

コミュニケーションを広める

参加して感じたこと

大学生と高校生が関わること・農業を経験できることが貴重

ボランティアを通じて地域の人と話すことで、学校付近の状態を知ることができ、自分に何ができるかを知れる

10月下旬に京山中学校と連携予定！

農業を知り・学び・楽しむ！

そして、伝え・繋げる！！

SCOG圃場を
大学生・高校生・中学生・小学生で
循環させる！

信頼関係からの**居場所**化

持続可能性を実現！